

四日市のすべてが分かる

「四日市市史」全20巻刊行

昭和五十八年から編さんを進めてきた「四日市市史」。一月末に第二十巻が刊行され、これで全二十巻がすべてそろいました。市史は、古代から現代までの歴史だけでなく、自然、考古、文化財、民俗、絵図がそれぞれ独立した本にまとめられ、四日市のことがすべて分かる内容になっています。ぜひご覧になり、お求めください。

読むほどこにももしろい!!
詳しい記述、絵や写真も多用

市史は、史料編が第一巻から第十五巻、通史編が第十六巻から第十九巻、年表・索引編が第二十巻の全二十巻です。二十冊もの規模の市史は全国的にも少なく、史料編、通史編ともに写真や絵図などを多用しているのが特徴です。

史料編は、地形・地質や動植物の「自然」、遺跡・古墳の「考古」、「考古」、文化財・文化遺産の「文化財」、風俗・習慣・伝承を知る「民俗」、江戸時代の様子を絵で見る「絵図」、古代・中世の四日市を知る「古代・中世」、江戸時代の支配と生活・文化を知る「近世」、「近世」、「近世」、「明治時代から太平洋戦争までの行政、産業、教育などを知る「近代」、「近代」、「近代」、「戦後の荒廃から昭和末年までの発展が分かる「現代」、「現代」の計十五冊です。通史編は四日市の歴史をたどり、倭建命伝説から信長の伊勢侵攻までの「古代・中世」、豊臣政権から廃藩置県までの「近世」、廃藩置県から太平洋戦争後までの「近代」、戦後から昭和末年までの「現代」の計四冊です。



市内で最も古い
上品寺の仏像



「大福帳」(本陣休泊記録)



史料の収集など調査を進める中で、新しい発見もたくさんありました。その中には四日市の歴史の見方を変えなければならぬような事柄もいくつかあります。新発見の中で興味深いものの一部を紹介します。

新発見が続々!!
本陣記録や平安期の仏像

全巻そろった四日市市史



掘り抜き井戸を掘る方法(中野町)

市史編さんQ&A

Q なぜ市史編さんを始めたのですか？

A 空襲や台風などによる被害、都市化の進展などにより、古い史料が失われてきています。そのような状況の中で貴重な資料を保存しようとして、今回の市史編さんは市制百周年記念事業として昭和五十八年に始まりました。

Q 市史はどのように編さんされてきたのですか？

A 市の歴史を正しくまとめるためには、古文書などの史料をできるだけ多く集める必要があります。そのため、編さんの初期には、毎日、史料の収集・整理の作業を続け、それらをもとに歴史をつなぎ合わせながら原稿にまとめました。原稿の執筆は大学の先生など約百人に上る人にお願いしました。

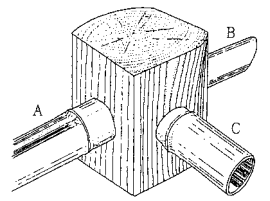
Q 古文書などの史料はどのようにして収集したのですか？

A 古文書などの史料は、昔の庄屋や村長などの役職に就いていた家、古い蔵などがある家に残されている可能性が高いと思われます。そのような家を一軒一軒訪ねるローラー作戦を二十年近く続け、膨大な史料を集めました。

四日市市史の内容

第1巻	史料編自然 地形・地質、植物、動物、気象など	7,210円
第2巻	史料編考古 古墳時代以前の遺跡・古墳など	5,150円
第3巻	史料編考古 古墳時代以降の遺跡・中世城館跡など	4,500円
第4巻	史料編文化財 指定文化財のすべてと主な文化遺産など	6,180円
第5巻	史料編民俗 市域の風俗・習慣・伝承・芸能など	7,200円
第6巻	史料編絵図 江戸時代に絵で表された地図	9,900円
第7巻	史料編古代・中世 奈良時代～戦国期の市域の史料集	6,600円
第8巻	史料編近世 江戸時代の旧三重郡・鈴鹿郡の史料集	6,300円
第9巻	史料編近世 江戸時代の旧朝明郡の史料集	6,300円
第10巻	史料編近世 江戸時代の交通・湊・文芸関係史料集	7,300円
第11巻	史料編近代 明治～終戦の政治・行政関係史料集	6,500円
第12巻	史料編近代 明治～終戦の産業・経済関係史料集	6,900円
第13巻	史料編近代 明治～終戦の社会・文化関係史料集	6,900円
第14巻	史料編現代 戦後復興～高度成長期の史料集	7,200円
第15巻	史料編現代 高度成長終焉～昭和末年の史料集	7,700円
第16巻	通史編古代・中世 旧石器時代～戦国期を通して読む歴史本	7,000円
第17巻	通史編近世 江戸時代を通して読む歴史本	7,800円
第18巻	通史編近代 明治～終戦を通して読む歴史本	8,100円
第19巻	通史編現代 終戦～昭和末年までを通して読む歴史本	7,400円
第20巻	年表・索引編 年表と第1巻～第19巻の索引・総目次	6,900円

市史の内容は市役所ホームページでも紹介しています。



竹管の継ぎ手の構造

上品寺の仏像（第四巻収録）
貝家町の上品寺で発見された市内で最も古い仏像です。奈良国立博物館で調べてもらったところ、平安中期に作られた釈迦如来像と分かりました（写真）。

本陣休泊記録（第十巻、第十七巻収録）
江戸時代に四日市宿の本陣に宿泊した大名や公家たちについて詳しく記録された「大福帳」です。地元産のカレイやハマグリなどの新鮮な魚介類を提供した様子など、当時のもてなしの仕様が分かります（写真）。

掘り抜き井戸を掘る方法（第五巻収録）
機械に頼らずに井戸を掘る方法です。現在では、海外でNPO活動などでこの技術が活躍しています（写真）。

竹管水道（第五巻収録）
竹の管を地下に埋設したもので、戦後まで使われていました。竹管はマダケで、管の連結や分水にはマクラと呼ばれる木の継ぎ手が使われていました（図）。

海軍燃料廠の様子を記した日記や写真（第十八巻収録）
軍の内部資料であったため、これまで明らかにしていなかった貴重な資料が、市史編さんのために提供されました。

こんな人たちがいた!!
時代を築いた偉業の数々

市史では、優れた業績を残した四日市の偉人たちにもスポットライトを当てています。日本の飛行機開拓の先駆者で、日本のライト兄弟（写真）と呼ばれ、東京・羽田に飛行学校を作った「玉井兄弟」、幕末・明治に本草学を研究して優れた業績を残した「丹羽修治」、珠算塾「伊勢百日算」を開いて全国に人材を送り出した「井上親亮」、漢学・儒学を研究して私塾「半学舎」を開いた「大賀賢励」、明治から昭和にかけてロシア・蒙古などで広く仏教の布教活動を行った「日露戦争時にはロシアに抑留された日本人八百余名を救出した、太田覚眠」などを紹介しています。



玉井兄弟の公開飛行（午起海岸）



市史編さん室分室に保存されている資料

後にも役立てるために、現在、目録作成など史料の整理を行っています。

Q 史料はこれからどうなるのですか？

A 収集した史料は、現在、中央緑地にある市史編さん室分室に保存されています。市史ではページ数の限界もあり、史料があっても掲載できなかった事柄もたくさんあります。せっかくなので集めた史料を今

購入のご案内

一巻だけでも求められます

今まで知らなかった四日市の歴史、先人の残した業績を、ぜひお楽しみください。20巻セットで、また、興味ある一冊だけでも、お求めいただくことができます。

購入できる場所

- 北洞書店 北町 ☎52-4267
- 書店文学堂 笹川五丁目 ☎21-4333
- 西脇書店 阿倉川町 ☎31-0098
- 白揚 諏訪栄町 ☎53-1468
- 宝文堂杉本書店 西日野町 ☎21-0051
- 四日市新光堂 諏訪栄町 ☎51-1600
- 別所書店 津市中央 ☎059-226-3366
- 市政情報センター（市役所北館1階）
- 市史編さん室（本町プラザ6階）
- 市立博物館ミュージアムショップ

市立図書館や市立博物館情報コーナー、各地区市民センターなどで閲覧できます。